

地域文化学科って何ができるの？

あなたの志望は？



2年生に上がるときに希望のコースを自由に選択

心理実践コース

臨床心理
社会心理
発達心理
心理面接
認知科学
脳とこころ
心理学実験
教育・医療心理実習

地域社会コース

政治 経済 法律
地理 環境 ICT活用
地域振興 観光 社会学
マーケティング 経営
データサイエンス

国際文化コース

文学 映画 美術
演劇 方言 ジェンダー
外国語 海外研修
コミュニケーション
秋田と世界の歴史
哲学 文化人類学

↓
教員免許取得は
必須ではありません。

↓
教員免許取得は
必須ではありません。

どんなところに就職するの？

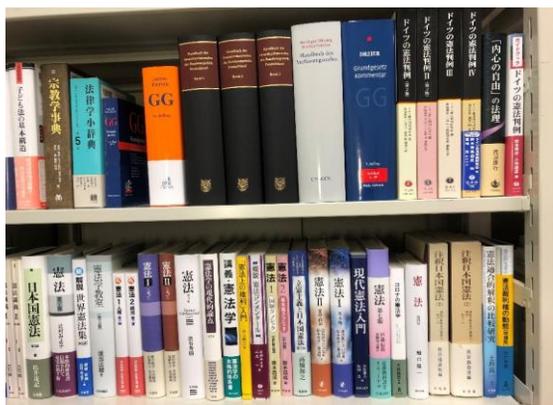
- <公務員> ・秋田市・秋田県・能代市・大仙市・仙北市・横手市・男鹿市・秋田地方裁判所・青森県・岩手県・山形県・酒田市・仙台市・新潟市・新潟労働局・東京国税局・東京都大田区・農林水産庁・警視庁、等
- <企業> ・秋田県商工連合会・秋田魁新報社・秋田キャッスルホテル・秋田銀行・北都銀行・秋田放送・秋田ダイハツ販売・七十七銀行・東北労働金庫・日本旅行東北・東日本旅客鉄道・イオン東北・NTT東日本・野村証券・東京海上日動火災保険・損害保険ジャパン日本興亜・マイナビ日本食研ホールディングス、等
- <進学> ・秋田大学大学院・東北大学大学院、等

秋田大学教育文化学部のホームページにおいて、本リーフレットのPDF版を閲覧することができます。



以下は、地域文化学科に所属している教員です。文章はこれから大学に入学する皆さんにむけて、大学入学前に経験しておいて欲しい事柄や読んでいるとためになる本などについてのメッセージです。(*)印を付けた教員は、令和7年4月1日より情報データ科学部へ異動予定ですが、教育文化学部でも授業を担当する予定です。

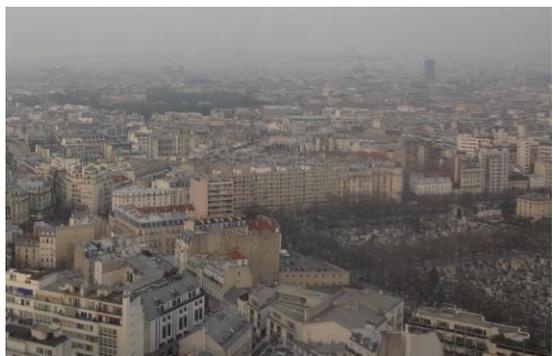
地域社会コース



棟久 敬

(専門分野: 憲法、信教の自由・政教分離)

「日本人は無宗教だ」といわれることがよくあります。しかし、コロナ禍でもたくさんの人が初詣に赴いたように、多くの人は無意識のうちに何らかの宗教を強く信じているようにも見えます。では、感染拡大を防止するために政府は初詣を規制することはできるのでしょうか。はたまた、初詣は屋外だからいいけれど、屋内の宗教活動は規制しても良いのでしょうか。こんなふうに、皆さんの生活の身近なところに憲法はかかっています。世の中で当たり前に行われていることは本当なのか、一歩立ち止まって考えてみると、とてもおもしろいですよ。



小野寺倫子

(専門分野: 法学(民法、環境法))

人は、一人では生きていけないのに、社会の中で他者と共に暮らすとなると、ときに利害の対立から争います。法は、社会の中で発生する紛争を解決あるいは予防するための重要な仕組みです。法学は、大学に入って基礎から学ぶ科目ですから、入学前に特別な準備はいりません。しかし、人々のいとなみとそれを取り巻く社会のありように関心を持つことが学修の前提になります。家庭、学校、地域でのなにげない日々の生活に細やかなまなざしを向け、ジャンルを問わずたくさん本を読んでください。



千葉県文書館での資料調査

中澤 俊輔

(専門分野: 日本政治外交史)

政治を学ぶ際には、現在だけでなく歴史からも様々な気づきを得られます。日本政治外交史は、公の機関や文書館が保管する公文書、政治家・官僚たちが残した私文書の研究を基本としています。このほか、当事者に話を聴いて史料の空白を補うオーラル・ヒストリーも用いられます。興味関心のある方は御厨貴編著『近現代日本を史料で読む』(中公新書、2011)、御厨貴『オーラル・ヒストリー』(中公新書、2000)をご一読ください。



高橋環太郎 (*)

(専門分野: 観光学、島嶼地域)

島嶼(とうしょ)地域、いわゆる離島の観光について研究をしています。島の観光地は国内外に多く存在しており、華やかな場所もあります。観光はこうした地域の主要な産業であったり、社会的に重要なものとして位置づけられています。現在、大学では島の研究で培った経験をもとに様々な地域の観光について、学生とともに研究しています。写真は学生が地域PRのためにあげたSNSの一部です。地域の観光について興味がある方はぜひ一緒に学んでいきましょう。

There is no such thing as a free lunch.

Milton Friedman

Wan Jiangyun

(専門分野:ミクロ経済学)

Many people believe health care in Japan is “free.” But we are all paying for it with our taxes. In fact, there is no such thing as a free lunch. Everything has costs. In the courses I teach, we study the costs of everything we do as consumers, producers, and policymakers.



熊丸 博隆 (*)

(専門分野:環境経済学)

地球温暖化やごみ問題という言葉聞いたことはありますか？これらは環境問題と呼ばれており、秋田に限らず世界中で問題となっています。ではなぜ環境問題は発生するのでしょうか、どのようにして環境問題を解決すべきなのでしょう。これら諸問題を経済学的に解き明かすのが環境経済学です。

現在私に関心を持っているテーマは、海洋プラスチック問題に伴う新たなプラスチック循環経済の検討です。環境保全に興味がある、気になる環境問題がある方は共に学びましょう！



臼木 智昭 (*)

(専門分野:経営学、自治体の経営分析など)

著名な経営学者のドラッカーは「マネジメント(経営学)とは教養である」と言っています。「教養」とは、ものごとを正しく捉えるための基礎的な知識のことです。

企業だけでなく、国や地方自治体といった公共部門など、さまざまな組織が抱える問題を、経営学の視点で捉え直し、地域や社会がより良い方向に向かうための方策について、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。



益満 環

(専門分野:マーケティング)

シティプロモーションによる地域活性化について研究しています。シティプロモーションとは、「地域の魅力を国内外に広く情報発信することで、知名度や認知度の向上を目指す活動」です。これにより関係人口の増加等の効果が期待されています。その活動の一環として、今年度のゼミナールでは大仙市役所と大仙市内の5つの酒蔵とタッグを組んで「宵の星々」という統一銘柄の日本酒を造っています。大学での座学と現場での実践の双方から「秋田を活性化する方法」について一緒に学びましょう。



石沢 真貴

(専門分野:社会学)

社会学では、私たちが暮らす地域コミュニティの具体的な課題から、社会全般についての課題まで様々な研究をします。少子高齢化、産業構造の変化、グローバル化といった社会変動が、地域コミュニティに暮らす人々の社会関係にどのような影響を及ぼしているのか、どのような地域課題に対しどのように取り組もうとしているのか、身近な地域について考えていきましょう。



和泉 浩

(専門分野:社会学)

社会学は社会や文化、生活、人間関係など、さまざまなことを研究できる分野です。授業では格差や不平等、ジェンダー、環境、医療、メディア、教育、観光、都市など、さまざまなことを扱っています。研究としては音楽や音と社会との関係や都市などについて研究しています。地域とのかかわりでは、能代市と連携して総合計画に関する事業などに学生と一緒に関わっています。勉強だけでなく部活や趣味など、さまざまなことが大学での学修につながります。楽しめることを見つけてください。



ハワイ島コナの新規就農者の農園で
コーヒー豆を乾燥させている様子 (植村撮影)



植村 円香

(専門分野:人文地理学(農業・農村地理学))

新しく農業を始める人を新規就農者といいます。私は新規就農者が地域農業に与える影響に興味があり、現地調査をしながら研究を続けています。最近、ハワイ島コナでコーヒー生産を行う新規就農者に注目しています。実際に現地を歩き、自分の目で見て、人に尋ねることの大切さを教えてくれたのは、高校生のころに読んだ民俗学者の宮本常一先生の本の数々です。みなさんも、本屋や図書館で興味のある文庫や新書を手に取ってみてはいかがでしょうか。

篠原 秀一

(専門分野:地誌学、人文地理学(水産地理学))

大学では講義・演習・実習・実験を通じて、未知なる世界・事実を知る技能、多様に分析・解釈する学術的方法の基礎を身につけます。自分なりに健康で意欲あれば問題ありません。私自身は大学で地域調査を教わり、今も各地漁港を巡って研究です地域・文化にかかわる講義・演習・実習・実験などの経験を通じて、未知なる世界・事実を知る・発見する技能、多様に分析・解釈する学術的方法の基礎を実践的に身につけられます。



林 武司

(専門分野:水文学・自然地理学)

皆さんが日々、様々なに利用している水は、地球の諸環境を特徴づける物質であると同時に、人間社会にとって不可欠な資源でもあります。また水は、食料や資源、エネルギーなど様々なものの生産にも不可欠な存在です。このため水に着目することによって、人間社会やそれを取り巻く自然環境の、あり様や課題等を様々な考えられるようになります。このように皆さんの身近にあるものや日常的に利用しているものに着目して、皆さんの暮らす地域や日本、世界のあり様や課題を考えてみましょう。



成田 憲二

(専門分野:生態学 厳しい環境での植物の生き方)

1.興味・好奇心が勉強のエンジンです。大学で学ぶ前に、自分の周りの社会や人や自然など様々なことについて興味を持ってください。2.今まで学んだ「知識」についてそれが本当に正しい事なのか一度疑ってみてください。物事をしっかり理解することはとても重要です。3.自分の未来を想像してみてください。どこでどんな仕事をしたいのか、どんな人生を過ごしたいのか、目指したい将来像を持ってください。



西川 竜二

(専門分野: 環境共生住宅、健康快適な居住環境)

新旧問わず、居心地のいい建物や街並みを五感で感じて経験値を増やし、その空間・環境を成立させる要素や仕組みを考察して欲しいと思います。見方・考え方を養うヒントとして、入手や読みやすい本は、まちづくりに興味がある人は山崎亮氏「コミュニティデザインの時代」、持続可能な住まいやライフスタイルの普及に興味がある人は甲斐徹郎氏「自分のためのエコロジー」や前真之氏「エコハウスのウソ」、科学的な思考法には寺田寅彦の随筆(私は「涼味数題」から示唆)はいかがでしょう。

池本 敦

(専門分野: 食健康学、栄養学、地域資源活用)

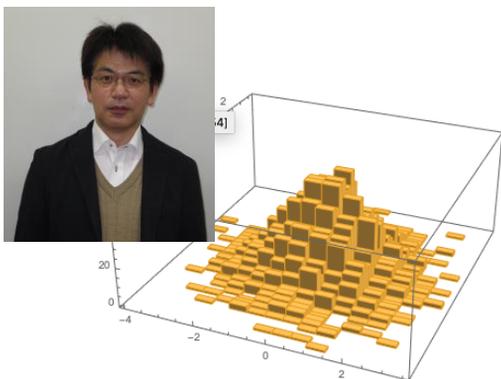
健康寿命を伸ばして豊かな長寿社会を実現するために、食と健康に関する問題を研究し、食品機能学や栄養生化学を専門としています。また、秋田の食資源を有効活用して地域貢献することを目指し、生産者・企業・自治体と産学官連携活動を展開することで、特産品や健康食品・化粧品などの開発にも取り組んでいます。当事者としてプロジェクトに参加することで、多くの学びが得られますので、一緒に参加して頑張ってくれる皆さんを待っています。(左の写真は開発した食品です。)



佐々木 重雄

(専門分野: 情報科学・プログラミング言語)

インターネット活用、統計処理といった ICT系の授業を担当しています。将来のビジネスの担い手として必要とされるとスキルと考えられるからです。さて産業界や教育行政機関から、これからの時代は AI やデータサイエンスが重要なので、すべての大学生は、理系文系を問わず、これらの学問を学ぶべきという主張がされていて、秋田大学もその方向でカリキュラム整備が進められています。数学など、あまり手を抜かずに学んでおきましょう。



林 良雄

(専門分野: 情報教育・ICTの人文科学への応用)

現在進んでいる小中高校でのICTの活用についての研究をしています。また、人文科学での情報技術の応用、具体的には方言研究の成果をデータベース化して、研究者にデータを提供するシステムを作っています。高校でもICTの活用が進んでいますが、ICTを有効に活用するには“現実”の体験が重要です。友達や部活での対面の人間関係や旅行などで様々な地域を実際に見て回るなどで体験したことがICTの有効な利活用につながると思います。積極的に色々なことを体験してください。



保坂正智

(専門分野: 地域連携コーディネーター)

「地域連携ゼミ」という授業で、実習先開拓や実習活動サポート等を担当しています。写真は株式会社マルシメ様よりご提供頂いた実習先向け成果報告会の様子です。学生がこの授業で職業観を育み、社会人基礎力を身に付け成長した姿に喜びを見出しています。高校生の皆さんは、将来就きたい仕事を決めている人、いない人と様々だと思いますが、色々なことに興味を持つことで未来が開けます。今から好奇心を高めることに努めて下さい。そして一緒に成長していきましょう！



国際文化コース



清水 翔太郎

(専門分野: 日本近世史、大名家研究)

秋田藩主佐竹家の事例を中心に近世大名家の婚姻の研究をしています。秋田県公文書館には佐竹家に関するたくさんの古文書が収蔵されており、それらを読み進めています。大学の日本史ではくずし字で書かれた古文書を読解し、歴史像を構築していきます。博物館を訪れた際には、古文書の展示にも注目してください。江戸時代の政治や社会について詳しく知りたい方には、深谷克己『江戸時代』(岩波ジュニア新書、2000年)を一読することをお薦めします。



内田 昌功

(専門分野: 中国史、3~10cの民族、都市)

最近私が関心を持っているのは隋の煬帝です。煬帝というと暴政を行い、隋が滅びる原因を作った人物というイメージがあるかもしれません。しかし煬帝に関する当時の史料を読んでいくと意外な顔があることに気づかされます。遊牧民の血を引き、詩人であり、そしてたいへんすぐれた政治家でもあるのです。なぜ煬帝にはこのような正反対のイメージがあるのでしょうか。実はそこにこの時代を理解する鍵があります。大学では研究の楽しさを知ってほしいと思います。写真左:長城、右:麦積山石窟



佐藤 猛

(専門分野: ヨーロッパ中世史、英仏百年戦争)

世界史にジャンヌ・ダルク(画像右:中仏・オルレアン市、佐藤撮影)が登場します。高山一彦編訳『ジャンヌ＝ダルク 処刑裁判』(白水社、2002年)、R・ペルヌー編著/高山一彦訳『ジャンヌ＝ダルク 復権裁判』(白水社、2002年)を紹介します。前者は彼女の処刑時(1431年)のイギリス側の記録、後者は処刑判決が取り消された時(1456年)のフランス側の記録の訳です。一人の人物について、記録を残す人々や時代背景が違っていると、これほどまでに印象が違うのかと、歴史学の魅力を実感できます。



中尾 信一

(専門分野: アメリカ文学、アメリカ映画、批評理論)

アメリカ合衆国には、独自の歴史・社会構造・文化があります。たとえば、ヘミングウェイなどの作家や『グレート・ギャツビー』という小説を聞いたことがあるかもしれません。文学作品を読むことは、物語の面白さを知るだけでなく、その背景となる社会や歴史を知ることにもつながります。また文学と同様に文化装置として強い影響力を持つものに映画があります。娯楽として映画を楽しみながら、その題材やテーマの研究をつうじて、アメリカ合衆国の特徴や魅力を学ぶことができます。



大西 洋一

(専門分野: イギリス文学(演劇)・文化)

イギリス演劇を代表する劇作家はやはりウィリアム・シェイクスピアですが、20世紀以降のすばらしい戯曲、たとえばバーナード・ショー『ピグマリオン』(光文社古典新訳文庫、2013年)、J・B・プリーストリー『夜の来訪者』(岩波文庫、2007年)、キャリル・チャーチル『トップ・ガールズ』(劇書房、1992年)などを読んで、イギリスの社会と文化について考えてみてはどうでしょうか。そして、どこの国の作品でもかまわないので、ぜひ劇場で生の上演をたくさん見てほしいと思います。



辻野 稔哉

(専門分野: フランス文学・文化、映画論)

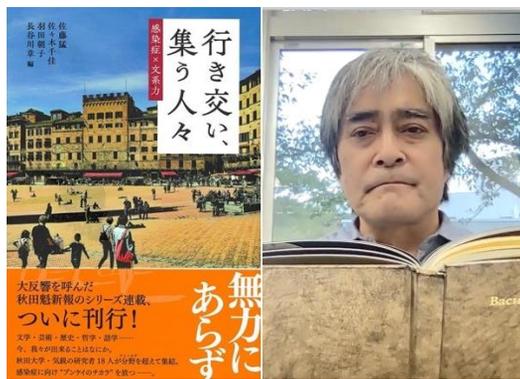
19世紀から20世紀初頭の時代に書かれたフランス文学を中心に、フランス文化の様々な世界を勉強しています。小倉孝誠編『十九世紀フランス文学を学ぶ人のために』(世界思想社、2014)や田村毅編『フランス文化読本』(丸善、2014)が良いガイドになってくれるでしょう。また、映画というものを多角的に捉え、その歴史と現状、そして未来について授業で考えていくつもりです。高校生のみなさん、国際文化コースでぜひ一緒に勉強しましょう！



中村 寿

(専門分野: ドイツ語、ドイツ文学、中欧文化論)

ドイツ文学、とりわけ東欧に関心があり、ドイツのほかオーストリアやチェコなど、中東欧の地域と文化について講義しています。文学・文化研究の基本は、他者の発言に注意深く耳を傾け(=辞書を使って原文にあたり)、じぶんの視点からそれをまとめること。言語はサングラス。外国語のメガネに変えると、世界は新鮮に見えてきます。あまりたこつぽ型にならず、柔軟な姿勢でものごとにあたると思います。



長谷川 章

(専門分野: ロシア文学・映画論)

私はソ連時代の文学・映画・アニメを研究しています。でも、みなさんには、まずロシア語がどんな魅力を秘めているかを紹介したいと思います。その点では黒田龍之助の超入門書『ロシア語のかたち《新版》』(白水社、2013年)が最適です。本書を少し眺めるだけで、英語と違う文字体系に心惹かれる人も出てくるでしょう。これをきっかけに、実際にロシア語に取り組まなくても、ロシアに関心を持った人と、日本では知られていない隣国の魅力(と矛盾)を授業でいっしょに学べたらと願っています。



佐々木千佳

(専門分野: 西洋美術史、近世イタリア絵画史)

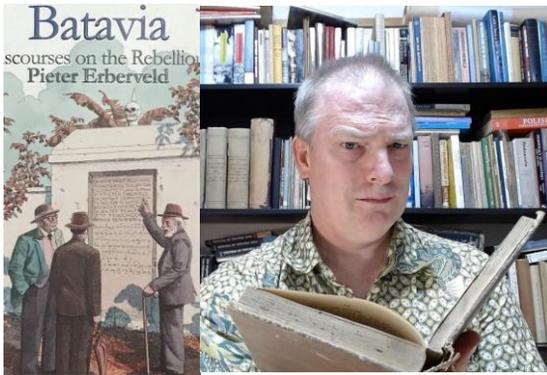
美術作品は美術館で鑑賞するものと考えられることが多いですが、近代以前は都市の中に溶け込み、邸宅の壁画や教会内に、それぞれの役割を担うために設置されていたものでした。こうした作品を制作された都市の成り立ちや文化状況といった歴史的な文脈で捉えると、当時の人のリアルな鑑賞体験が見えてきます。まずは身近な美術館にある実際の作品を見に行ってみましょう。大学での美術研究に必要な「自身の眼で観察し情報を読み取る」イメージ理解の十分な準備となります。



羽田 朝子

(専門分野: 中国近現代文学、女性文学)

私は近代中国の文学を研究しており、とくに女性作家の作品に関心があります。作品に表れる当時の社会状況や日本との関わり、ジェンダー観や恋愛・結婚観、チャイナドレスなどのファッションも分析の対象です。お勧めの書籍は『中国女性史入門』(人文書院、2014年)です。東アジアという同じ文化圏にあることから共感することもあるでしょうし、意外な違いに驚くこともあるかと思います。関心のある方、ぜひ大学でともに学びましょう。



William Bradley Horton

(専門分野: コミュニケーション学・インドネシア歴史)

Do you know about Indonesia? You can learn about it with me, but also about Communication! I love to communicate. How do we communicate? How has technology changed communication? How could we use technology in the COVID-19 era? We can also read the famous book *Propaganda* by Edward Bernays. I use old newspapers from Indonesia to learn many things about Indonesian society and history, and you can use your language skills for learning and communication too!



高村 竜平

(専門分野: 文化人類学 朝鮮近現代史)

韓国の研究をしていますので、近年韓国に関心をもつ若い人が増えているのは心強い限りです。毎年、留学や海外研修に参加する学生も増えています(写真はソウル夏期研修の様子)。ただし講義やゼミであつかう材料は、韓国に限らず衣食住などの文化や宗教・政治といった社会について扱っています。「文化人類学」という分野は高校生にはなじみがないでしょうが、松村圭一郎『はみだしの人類学 ともに生きる方法』(NHK出版)をよんで面白いと思える人は向いているかもしれません。



秋田県潟上市での
方言調査

大橋 純一

(専門分野: 日本語学、方言学)

日本列島の周縁部には、かつて都で話されていた古い言葉が多く残されています。地方ゆえに中央で生じた言葉の変化に後れをとり、言語の島と化していることが原因です。現在、年配者の話す秋田弁を聞くと、万葉集に出てくる言葉、中世の書物に記録されている発音などが観察され、あたかもその時代にタイムスリップしたかの錯覚に陥ります。そんな秋田弁の魅力や特徴が、秋田県教育委員会編『秋田のことば』(無明舎出版、2000年)に解説されています。是非一度読んでみてください。

ここに掲載した教員の専門分野や研究テーマの詳細については、秋田大学教育文化学部のホームページ及びパンフレットにおいて知ることができます。



小倉 拓也

(専門分野: 哲学、現代思想)

中島らもは、アルコール中毒からの立ち直りを描いた自伝的小説『今夜、すべてのバーで』(講談社、1991年)で、「教養」を「ひとりで時間をつぶせる技術」だと語っています。文脈に即せば、アルコールに頼らずに、孤独や不安を生き抜く力のことです。孤独や不安につけこんで私たちを依存させようとするものは、アルコールのような化学物質以外にもたくさんあります。ときには、親や教師、友人さえそうです。真の教養とともに、これらから自由になりましょう。大学で学ぶ哲学は、そのための学問です。



Roman Paşca

(専門分野: 日本哲学・環境倫理学)

What is the correct name for nature? Is it *physis*, *natura*, or *jinen*, *shizen*? How do I, as an individual human being, fit into the world of nature? Am I just a part of it, or do I control it? Do I have the right to just pick up a flower? If I cut a tree, doesn't that mean I am also hurting myself? How do I respond to the current environmental crisis?...

These are just some of the questions that I like to think about, and I hope we will have a chance to reflect on them together.

心理実践コース



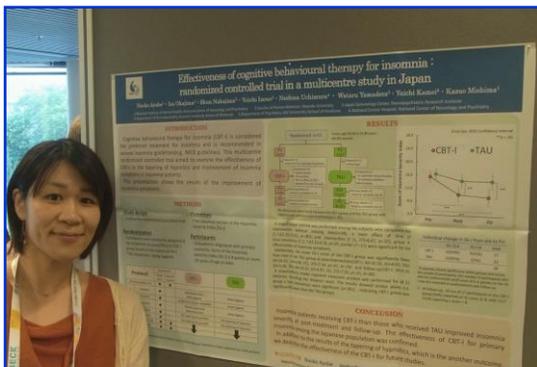
柴田 健

(専門分野: 臨床心理学, カウンセリング・心理療法)

カウンセリングってなんとなく知ってますよね。でも、カウンセリングの中で何が行われるのか、それがどのように相手に役立つのかは知らない方が多いのではないですか？

カウンセリングや心理療法がどうして役に立つのか、来談者には何が起こるのだろうか？一緒に考えてみませんか？

テーマは、「語り」「ストーリー」です。



綾部 直子

(専門分野: 臨床心理学、睡眠)

私は、睡眠に問題を抱える人たちに対する効果的な心理的支援方法の開発や、学校現場での睡眠教育の普及・発展を研究テーマにしています。みなさんは「眠り」に苦労したことはありませんか？思い当たる人もいれば、そんなことこれまで一度も考えたこともない人もいるかもしれません。若いときほど夜更かしをしがちですが、今は心身ともに成長する大事な時期です。たくさん体を動かし、遊び、そしてたくさん寝てください。

心理学を学んだら・・・ 

他の人の心が読める？ 自分の悩みが消える？

あの人の本心がわかる？ 心を落ち着かせられる？
みんなの心を動かせる？ 強い心を持てる？



木村 久仁子

(専門分野:福祉領域での心理学的支援)

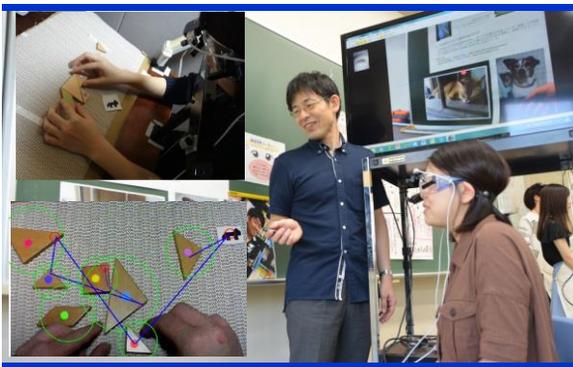
これを読んでいるみなさんの今の悩みはなんでしょう？進路や対人関係、家族・・・こんなことで悩んでいる自分にも悩むことがあるかもしれません。臨床心理学では人の悩みや心に関する困りごとを扱います。臨床心理学を学んでも、他の人の心を読んだり悩みを瞬時に消したりはできませんが、自分が悩んだ経験、悩みを人に相談したりされたりした経験は、学びを深めます。悩みを学びと成長のチャンスととらえて上手に悩みましょう。



北島 正人

(専門分野:臨床心理学, 医療心理臨床)

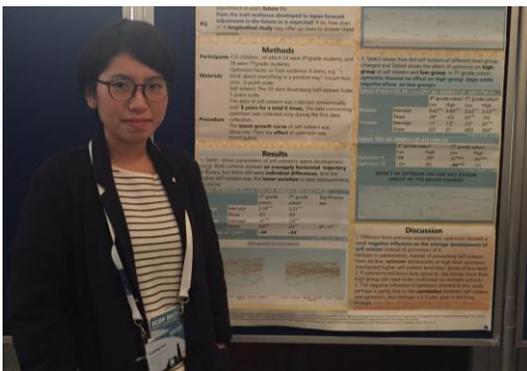
臨床心理学は人々の健康や疾病の改善に寄与する、応用心理学の分野です。心理アセスメントを用いた自殺のリスク評価、バーンアウト(燃え尽き)症候群をはじめとする教師のメンタルヘルス、再犯者の心理特性について研究を行っています。さらに公認心理師・臨床心理士という心理専門職として医療、教育、矯正分野で実際に対象者の方に心理支援を行っています。広く社会事象に目を向けながら、ともに“こころ”の探求をしましょう。



中野 良樹

(専門分野:実験心理学、認知心理学)

私たちは時々、何かを突然ひらめくことがあります。それは難しい問題を考えている最中かもしれないし、ボーっとしている時かもしれません。共通しているのは、ひらめきは前ぶれもなく突然表れることです。なぜ、「突然だと感じる」のでしょうか？タングラムというパズルゲームを解いている人の手や視線の動きを測定し、洞察(ひらめき)に代表される、人間の意識下での思考やその背景にある心理・生理的現象について研究しています。



Hou Yuejiang

(専門分野:発達心理学 教育心理学)

今の皆さんは大学の中で何が学べるだろう、社会に出たら何をしようという思いを巡らしてるかと思います。学術的な知識は大学に入ってからにして、今は学びを通して最終的に誰の役に立ちたいかを考えてみるいい機会ではないかと思います。例えば貧困や格差の中で、外国ルーツの子どもは何を経験してどう成長しているかを如実に描かれている『子どもたちの階級闘争』や『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』は、何か示唆を与えてくれるではないかと思います。

ここに掲載した教員の専門分野や研究テーマの詳細については、秋田大学教育文化学部のホームページ及びパンフレットにおいて知ることができます。